

平成 28 年 9 月 20 日

## 10 月の木材価格・需給動向

### 1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は降雨が続き搬出作業に大きな影響。入荷は平年に比べ少なく一部材種に品薄感。荷動きは全般に引合いの強い状態続く。スギ・ヒノキとも中目材の引合いが特に強く高齢級の新材も人気。価格は入荷量が少ない中、秋需に向けて堅調な展開。スギは値上基調の柱材が調整局面で弱保合だが、中目材は新材の入荷少なく強含み。ヒノキは柱材が引続き強保合で中目材は強含み。

群馬の製材工場は原木少なく製品生産が進まない状況。注文材中心の受注で製品市場出しは少ない。公共物件が本格化し全体的には上向きだが、一般物件少なく地場の注文少ない。天候不順で原木出材は少なく国有林材が出始めたものの、山林関係事業が全般に遅れており、原木は逼迫している状況。製材品の在庫は比較的潤沢だが羽柄製品に品薄感。価格は全般的に低位安定状態。

### 2. 米材

輸出向け丸太の産地情勢は、冬場に向けた在庫積み上げ開始、産地原木価格は上げ基調。オレゴン州南部を除き山火事警戒レベルは完全に収束。産地の港頭在庫は工場の在庫積み増しのため、小径材を中心に需給締まるが、輸出には支障なし。ウェアハウザー社の 10 月積み対日米マツ価格は、前月積比尺上で \$ 10 アップ。産地工場との競合で上昇基調。8 月の米材丸太の入荷量は 174 千 $m^3$ で、1-8 月累計では前年同期比 11%増。出荷量は 180 千 $m^3$ で同累計では 9%増。在庫量は 266 千 $m^3$ で前月比 7 千 $m^3$ 減。日本国内の大手米材工場の販売は好調。失効中の米加針葉樹製材品協定は、猶予期限の 10 月までに新協定が発効される見込み薄い。

米製材品の TLT(東京木材埠頭)9 月の入荷量は 26 千 $m^3$ (前月比 1.9%減)、出荷量は 27 千 $m^3$ (同 1.1%減)。在庫量は 51 千 $m^3$ (同 1.1%減)。8 月の米国住宅着工は、市場予想を下回る年率 1,142 千戸で前月比 5.8%減。ランダムレングス紙の 9 月末 15 種木材価格平均は、\$ 356/M で先月末比 1.7%減。現地価格は日本からの注文で大手サプライヤーが強気。今後プレカットを中心に各社忙しく荷動きも良好。パワービルダー系の仕事が目立ち年内はこのまま推移すると予想。韓進海運の破綻により船運賃が上昇、10 月以降コストアップとなる模様。

### 3. 南洋材

サバは合板市況の悪化や製材品市場の低迷で出材は減少。但し太材良木の輸出は依然好調で相場も横這い。サラワクは伐採規制で原木出材は減少しているが、世界的な合板需要の低迷で影響は少ない。インドの原木買付けは堅調で日本向けは減少。PNG ソロモンは天候に恵まれ、インド市場を中心に堅調な出荷が続く。丸太の入荷は減少、出荷は横這い、在庫は増加。製材品の入荷は横這い。丸太の販売は合板・製材用とも変化なし。製材品は引続き市況に活気無く、現地仕入れ、国内販売ともに当用買いの商況。国内相場は引続き横這い状態。

### 4. 北洋材

シベリア地域は夏山伐採終了で冬山への移行期。原料丸太は依然中国との購買競争で高値維持、原料不足が顕著。8月の関東の製品在庫は40千 $m^3$ で前年同月比9.6%減。丸太価格はエゾマツ・カラマツ\$130、アカマツ\$163で変わらず。製材品は現地挽き上級グレードが円貨で保合、国内挽きは保合。アカマツ原板は高値据置き。荷動きは現地挽き3,0cm×4.0cm上級グレード需要堅調。国内完成品は良質グレードが堅調で低級品は低調。国内の北洋材製材工場は特注品で採算維持、稼動は通常操業、原料調達丸太が6月以降減少、原板は9月も入荷順調。特殊材の受注多いが対応難しい。

### 5. 合板

原料丸太のうち国産材の入荷は順調で、カラマツの高値張り付きも継続。ロシア材は供給・価格とも変わらないが、冬場に向けて供給に不安大。米材は国内向け需要が旺盛で価格は若干の強基調。南洋材は高値張りつきのままで、厳しい原木事情も変わらないが、日本マーケットの低迷から影響は出ていない。8月の国内合板総生産量24.3万 $m^3$ のうち、針葉樹合板は23.0万 $m^3$ で対前月比1.7万 $m^3$ 減。出荷量は23.9万 $m^3$ で依然高水準で推移。在庫量は更に減って9.7万 $m^3$ と2年5ヶ月ぶりに10万 $m^3$ を割り込む。国産針葉樹合板の10月販売価格は12mm、厚物ともに20円の値上げを打ち出す。需要旺盛で玉確保が優先、強気の価格展開と予測。

国産針葉樹合板は12mm、厚物ともに品薄状態、納期遅れが顕著で直需ルートにも波及。各メーカーとも出荷実績は好調だが、木建ルートでの不足感は依然強い状況。輸入合板の8月入港量は20.9万 $m^3$ で今年最低。相変わらず12mm系の出荷が振るわず、納材店の取扱量は明らかに減少。先行き国産針葉樹合板は、今後季節的要因もありトラック不足から供給問題はますます厳しくなる可能性。輸入合板はコストに合わない販売が続いており、今後入荷減が見込まれる中で9

月決算を終えた商社が価格をどう展開していけるかがカギとなっている。品薄品目は針葉樹合板全般、荷余り品目は特にない。

## 6. 構造用集成材

ラミナは入港遅れと生産好調で在庫少ない。ラミナ QTR4 交渉は WW・RW とも円ベースで大幅な上昇は無い模様。欧州サプライヤーの販売は好調。国内集成材の受注は依然好調。販売・荷動きとも良好で WW 柱、RW 梁桁とも納期は1ヵ月以上、WW 間柱はタイト感が一服。販売先行きは受注残多く年内好調の見通し。在庫は極めて少ない。需要過多でタイト気味だが価格に反映されず、製品価格は横這いで推移。輸入集成材は入港遅れが続いており、供給不安定で年内の解消は難しい状況。WW 柱がラミナ高と納期遅れで RW 柱への切り替え進む。

## 7. 木材チップ

チップ用原木の入荷は依然 FIT と競合、解体材は例年並み、熊本で発生量増え処分に苦慮。消費は製紙用が NL とも変化なく、燃料用は工場の定期修理で受入抑制気味。在庫は横這い若しくはやや増加で推移。針葉樹チップ価格は高値横這い。輸入チップは北米の生産が好調で、為替レートの変動に伴い価格・運賃ともに更なる値下げの動き。国内のチップ工場は、原材料の集荷状況、地域により稼働率に差が出ている。

## 8. 市売問屋

国産材の構造材は 9 月後半からスギ柱角、ヒノキ柱、土台角に小動き。造作材はここにきて纏まった需要が出てきた。外材の構造材は、米マツ、米ツガとも小動き感はあるものの、為替変動がらみで買い方の在庫意欲は乏しい。造作材はスプルー・米ヒバ良材の動きが順調。市日来場者に変化ないが、必要当用買いから徐々に先行き目途が立ってきている模様。今後の天候回復で仕事が進むと本格的な秋需が期待される。

## 9. 小売

国産材の構造材はスギ KD 柱・小割・板、ヒノキ KD 柱・土台とも保合。外材はロシアアカマツ野縁保合、米ツガ角・平割とも弱保合、SPF 保合、WW 間柱保合。造作材はスプルー・ピーラー平割保合。タモ・ナラ平割品薄で強保合。集成材は WW 柱・梁、RW 柱・梁ともに保合。合板は国産針葉樹保合、輸入品保合。プレカット工場は稼働率良く納入に時間かかる。工務店の動きが幾分良くなり、着工遅れの現場も見られる。

10月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	→	→	→
北洋材	丸太	↘	→	↘
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	→		

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
→	↘	↗	→

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材 (3m) 2等	→
			スギ中丸太 (3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材 (3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太 (4m) 2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギタルキ 3.0×4.0×4m	→
米材	丸太	産地価格 国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ ISタイプ	↗
			米マツ ISタイプ コースト	↘
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	→
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8” 13’	→
		米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16” 13’	→	
		米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	→	
南洋材	丸太	産地価格 東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー	→
			メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
	製材品	産地価格 東京・問屋店頭 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→
			ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産) 同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→
北洋材	製材品	国内卸売価格 (京浜・オントラ)	アカマツ(KD) 30×40 AB	→
			アカマツ (KD) 15×45AB 18×45AB	→
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	↘
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	→
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	↗
			スギ 無化粧 JAS 5プライ	→
	欧州産	//	10.5×10.5×2.98m	↗
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	→
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	↘
			型枠 12.0mm厚 3×6	↘
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↗